

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	書面開催時は家族・関係者より意見が募れる取り組み(会議録の送付後に意見書面の返信など)が望まれる。	書面開催時は家族・関係者より意見が募れるような取り組みを考える。	会議録にご意見を募る書類を同封し、その書類を返信して頂く事で、家族・関係者のご意見を知り、いろんな場面で反映させていく。	12ヶ月
2	26	より利用者本位の介護計画となるよう、ニーズ欄(目標)にはより具体的な利用者の「思い、意向」の明示に期待する。(例:〇〇したい、〇〇が好き等)。またモニタリングしやすいよう、支援内容もより具体的に明示されることを期待する。	利用者の思いを具体的にあげられるよう本人の言葉を記録に残し、職員が汲み取っていく事で、モニタリングしやすい介護計画が立てられるようになる。	本人と話した内容や訴えを多く記録に残し、職員全員が情報や意見を出し合って「本人の思い」の把握に努める。そこから具体的な介護計画を立て、モニタリングしやすいものにしていく。	12ヶ月
3	38	災害発生時に地域住民の協力が得られるよう、継続的な働きかけが期待される。	災害発生時に地域住民の協力が得られるような関係づくりを目指す。	地域の防災訓練や防災に関する話し合い等があれば参加させて頂いたり、運営推進会議で働きかけていく。	12ヶ月
4	35	職員個々の緊急時対応スキル(特に誤嚥・窒息時対応)を把握されることを期待する。	職員の誤嚥・窒息の緊急時対応スキルをあげる為の研修を実施する。	調査員の方の助言を受けて、すぐに誤嚥・窒息の研修を計画し、R3.1/14(木)・1/15(金)の2日間、看護師による内部研修を実施した。 今後も毎年緊急時対応スキルの為の研修を計画し、実施していく。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。